



第十一回 中国残留日本人の体験を聞く会
満洲移民の写真・パネル展

(いずれも入場無料)

「私は日本人でもない、中国人でもない。」

そうつぶやきながらヒロシマで生き、ヒロシマで老いを迎える中国残留日本人に、
私たちはどういいう眼差しをおくってきたでしょうか。

文字ではなく、声で語られるその体験に耳を傾け、

共に生きていくために何ができるのか、

一緒に考えてみませんか。

期日 二〇二〇年十一月二十三日 (月・祝日)

会場 エソール広島 (おりづるタワー) 十階 研修室1・2

事前予約をお願い致します

事前予約先と道順等の詳細は裏面をご覧ください

戦前から戦中にかけて多くの日本人が海を渡って満洲に向かった中に、国策として送り出された約 30 万の開拓団の人々もいました。昭和 20 (1945) 年 8 月 9 日、ソ連の満洲侵攻で何万人もの日本人が逃げ惑い、家族と生き別れた子どもたちは中国人家庭に引き取られて生活を始めました。昭和 47 (1972) 年の日中国交回復後、中国に残ったまま生活していた多くの日本人孤児たちの肉親探しが始まり、「残留孤児」をはじめとした中国残留日本人は家族とともに永住帰国を果たしました。戦後 30 年以上を経て行われた日本への永住帰国は、中国残留日本人だけでなく、子どもや孫世代にも大きな影響を与えています。戦争は庶民にどのような影響を与えたのか? 「遅れた引き揚げ」で中国残留日本人は現在どのような問題に直面しているのか? 中国残留日本人の体験を聞いて、戦争と平和について考えませんか? 地域とともに暮らす生活者として、できることがあるか考えてみませんか? 多くの皆様のご来場をお待ちしています。

中国残留日本人の体験を聞く会 満洲移民の写真・パネル展

日 時：2020 年 11 月 23 (月・祝日) **事前予約をお願い致します**

写真・パネル展 (入場無料) 午前 10:00~午後 4:00

体験を聞く会 (入場無料) 午後 1:30~3:30

会 場：エソール広島 (おりづるタワー) 10 階 研修室 1・2

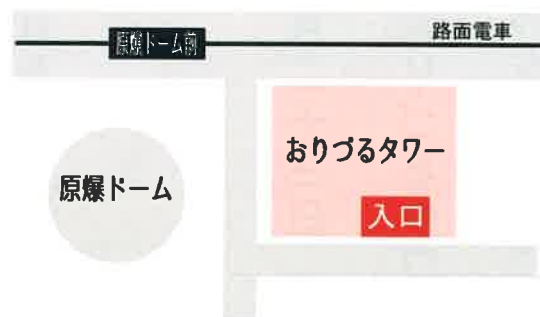
(広島市中区大手町一丁目 2-1)

予約・お問い合わせ：082-250-0210 (中国帰国者支援・交流センター)

ご来場には公共交通機関をご利用ください。

<公共交通機関でのアクセス>

- 広島駅から
広島電鉄 (宮島線・江波線) に乗車。
「原爆ドーム前」下車、徒歩すぐ
- 紙屋町バスセンターから
徒歩およそ 5 分



※電停側の入り口からは会場に入れませんのでご注意ください。

※おりづるタワー南側入口 (旅館相生側) のインターホンで [1001] を呼び出して、解錠されるのを待ちください。解錠されましたら、10 階へお越してください。

ご来場の際は、新型コロナウイルス感染防止のため、マスクの着用をお願いします。

当日会場に「広島コロナお知らせ QR」を設置していますので、スマートフォン、タブレット端末をお持ちの方はご利用ください。

主催 「中国残留日本人の体験を聞く会」 実行委員会

共催 中国・四国中国帰国者支援・交流センター

後援 広島県、広島市、日中友好協会広島支部